



第169号

発行所 上高井教育会
発行人 上高井教育会長
竹内正勝
編集人 会報編集委員
丸山剛
印刷所 須坂新聞社

新教育会館使用開始!

上高井教育文化の発信拠点に

教育会副会長 加藤 忠

本年度の上高井教育会の最大の事業は、いうまでもなく新しい教育会館の建設です。昭和四十七年に会館移転改築問題が持ち上がった以来、切望してきた新教育会館が、大勢の方々のご援助で見事に完成しました。

鉛鋼板にしました。会館が錆びて権力や仲間だけの根城になることなく、上高井教育文化の鐘楼であってほしいと願うからです。

更に、東西の壁面はグレードの高いミラーガラスにしました。「子どもの鏡になれ」の姿を写し、ありのままを知れ、課題をもって入館し、たゆまず研鑽し、その成果を社会に照り返せ、と教師が教師になる修行の場であってほしいと願うからです。

更に、東西の壁面はグレードの高いミラーガラスにしました。「子どもの鏡になれ」の姿を写し、ありのままを知れ、課題をもって入館し、たゆまず研鑽し、その成果を社会に照り返せ、と教師が教師になる修行の場であってほしいと願うからです。

更に、東西の壁面はグレードの高いミラーガラスにしました。「子どもの鏡になれ」の姿を写し、ありのままを知れ、課題をもって入館し、たゆまず研鑽し、その成果を社会に照り返せ、と教師が教師になる修行の場であってほしいと願うからです。

更に、東西の壁面はグレードの高いミラーガラスにしました。「子どもの鏡になれ」の姿を写し、ありのままを知れ、課題をもって入館し、たゆまず研鑽し、その成果を社会に照り返せ、と教師が教師になる修行の場であってほしいと願うからです。

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

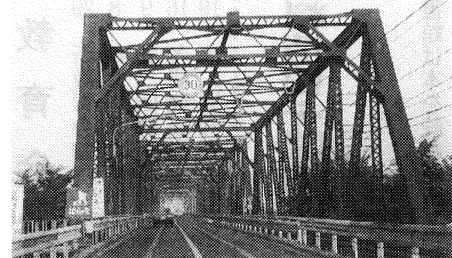
鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜



鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

須高の山と川 ①

千曲川

物のように鋭く切れそうなところが、「と表現されたことがありました。いじめをなくすためにも、人権感覚を育成するためにも、教師の鋭敏な感性と頭脳が、今日ほど強く求められているときはありません。この階段を見る度に、身の引き締まる思いがします。

日野小学校の西、約一・五畝には、千曲川の堤防がある。千曲川は、信濃川本流の長野・新潟県境より上流をいい、甲武信岳が源となり、長野市で犀川と合流している。長さ二一四畧、流域面積は七、一六三平方畧である。

千曲川というとき、私はすぐ、遠くに光って流れる姿を思い出す。小学生のとき、よく鎌田山に登った。頂上で遠くを眺めると、田んぼの向こうに白く流れる千曲川が目に入った。そして、一本伸びている線(電車の線路)や鉄橋をさがしたものである。千曲川をみると、満足感があった。もっと前の思い出としては、洪水を見に行った記憶がある。

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

鐘楼壁面と同じスロープの会館壁面は、耐久性の高い亜

教育実践から学ぶ

私の「守・破・離」体験

「特別活動」から

小林 将伸

私の師事するS先生は「学級経営は「守・破・離」だ」と教えてくださいました。本年度の特別活動研究会で私が体験した「守・破・離」をここに紹介させていただきます。

一、守

まず、生徒会引継ぎの時期に合わせ、題材を「生徒会活動を盛り上げるための学級活動を決めよう」とした。

「地域の花作り」や「地域清掃」の具体的な担任の見通しや学級会の進め方を十分に学級運営委員に指導しました。担任も学級運営委員も意気揚々と学級会に臨むのですが、思うように進まない。それどころか話題の焦点がぼけ始め、教室内は陰鬱な雰囲気になる。「最初からうまくいかない。委員を励ましながら会を重ねることが大事である。」

二、破

ところがある日、一人の生徒が「活動の目的を考えよう。」と発言した。すると、教室内に感心の声と拍手が起こった。それを機に会は活発になり、話し合いを楽しみにする生徒もでてきた。はじめは私のシナリオにしばられていた委員も次第に自力で進行できるようになった。話し合

いは相変わらず蛇行してしましたが……。

三、離

生徒はときどき担任の狙いと相反する発言をしてくれる。しかしそれらは結構正しいことを言っているのです。生徒を思うように動かすことは誤った考えであると私は感じたのです。また、活動の目的、手段、見通しなどを担任が整理して生徒に考えさせれば効果は生徒にとってそれほど有益ではないのではないかと感じました。将来、地域や職場

など様々な場面で紆余曲折する会合に出くわすであろう生徒らに今、試行錯誤の末、結論を導き出すことを体験させたいと思ったのです。特活の委員長はこうおっしゃっていました。

四、総括

私の住む町の月例の草刈りは大人だけが出てくる。子供は部活動か家にいる。将来の地域活動が心配される今、子供達に体験的な活動、とりわけ



奉仕活動が必要である。よって、特活の重要性はさらに高まるであろう。私は本年度小委員になったとき、「特活、学級経営のいろはを教えてください。」と委員長にお願いしました。この一年の研究は私の願いに大いに応えてくれるものとなりました。ここで学んだことは、今後幾つかの学級を受け持つ上で助けになるものと思います。

最後に私と一緒に学級を担任している小山先生の言葉を紹介します。

「充分な事前指導等がある」と、だんだん生徒主体の活動になっていくのですね。」

話し合い後、百々川の掃除を終え、今日学級運営委員は次回の美化V Sの下見に出掛けていきました。(墨坂中)

教育会だより

- 12・29 新教育会館への引っ越し作業完了
- 1・8 新しい教育会館で会務を始める
- 1・9 第二回研究会委員世話係・委員長会
- 1・16 各研究委員会の小委員会
- 1・19 第二回同好会世話係会長会

(会館 町田徳)

資料情報を図書館にたよる授業の試み

日野つかさ

図書館は本を読む場所。私のなかにはそんな認識が強くあった。実際中学生が図書館を利用する用途は、物語の本を読む、あるいは借りるが多い。だから図書館大会の分科会「情報・資料を活用した学習活動の工夫と実際」のレポーターとして自分の名前を見付けた時には、茫然となった。そこで教科をもっと考えればよかったと思うのだが、「国語の授業で」ということしか頭になく、国語で資料や情報を利用するにはどの単元のどの教材がいいのか見当もつかなかった。研究小委員の先生方や、自校の国語科の先生方に大きな援助をいただいで、その方向を見付けていった。

かに目標を定め、そのための資料・情報を活用する方法を考えていった。

実際に授業に入った時、意欲を掻き立てられるようにという理由から、子供たちに調査させるテーマを土地柄や産業にした。しかしそれは極めて社会的であり、主題に迫れるものでは決してなかった。子供たちは、意欲を喚起するどころか何のために調査をするのか目的を見失ってしまった。この失敗から、主題追究に意欲的に取り組めるテーマはないか探すことになった。結局教材本体からは離れて、発展段階として扱うことにした。が、国語科の主題追究のために調査活動をするわけだから、調査後に再び教材の叙述に立ち返り改めて読み深めるという方法を試みた。意欲的に活動できるように、テーマは五つに決め、自分の希望するグループに入れるように配慮した。「命」をテーマの根底に据え、食物連鎖という

物語の主題を読み深めさせる。国語科の問題として、主題に沿った読み深めができない、ということがある。物語教材になればさらに顕著で、知識として表面しか読まない(読めない)子供が多い。いかに物語の主題を読み深めさせる

過酷な条件の中で、人間がいかに他の命を大切に食してきたかを中心に調べられるようにした。設定したテーマは、

- ①ドイツの豚調理法
 - ②沖繩の豚調理法
 - ③アイヌの鮭調理法
 - ④日本の伝統的鯨の利用法
 - ⑤漁師の鯨への想い
- とした。今回の活動に子供たちを奮い立たせたものは、教材中でしてきた「豚の解体場面」を生々しい映像で見せた事であると思う。文章に詳しく書かれていない場面を映像で見せることには賛否両論あるとは思ふ。しかし、その場の登場人物の気持ちにより共感し、「同情」ではない生き物へのいたわり、感謝の気持ちを改めて感じる機会になったと思う。

調査するための資料・情報は、動機付けの映像、食文化を調べるための本、辞典、漫画、図鑑など、有効と思われるものは、こちらで用意をした。実はその点が今後の課題である。図書館を利用させるために設定したテーマであったはずが、そのねらいからは自らの調べたい事について書物を予想し、見付け、取捨選択する力をつける方法を考えたい。

(相森中)

授業実践から学ぶ特殊教育

丸山 充

本年度、栗ガ丘小特殊学級では、那研の授業校として、二回の生活単元学習の授業を行なった。

まず七月には、単元「一日生活学習」で、これは学校近くのPTA会館の畳の部屋でみんなですごく等のゲームをしたり、カレーを作ったりして一日過ごすものである。これをみんなで計画を立て、準備等の活動をしていく単元である。このPTA会館は、子ども達には近くにあるが、子ども達には近くにならなから使った事もなかったのかえって良かった。

本校の宝 ⑬

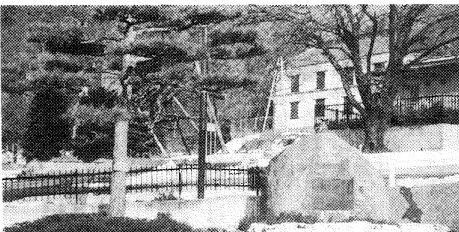
豊丘小学校

校門を入ると、児童を先生方をまた来客を、心静かに迎えてくれる校歌碑がある。

「この畳の部屋で一日過ごすのいいね」「みんなで一日何をしたいか」「あそこの机持って来て勉強しよう」「後ろに水道、ガスがあるからカレーを作ろう」など次から次へと意見が出された。

学校の近くに、こんな畳の部屋があったんだという新鮮な気持ち良かったと思う。当日の日程は、

- 始めの会……九・〇五〇
 - 朝の体操・マラソン・けり野球……九・二〇〇
 - 買い物……一〇・一〇〇
 - カレー作り・会食……一〇・一〇〇
 - 後片づけ……一〇・四〇〇
 - お昼寝……一〇・一〇〇
 - すごくゲーム・おやつ……一〇・四〇〇
 - 清掃……一四・二〇〇
 - 荷物整理……一四・三〇〇
 - 終わりの会……一四・三五〇
- 十一月には、単元「六・七組まつり」で、さつまいもが



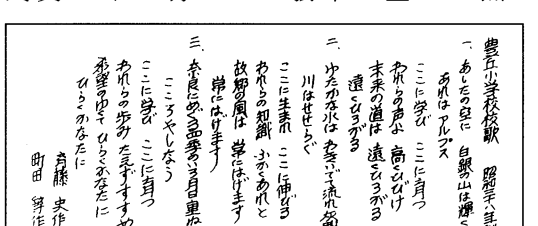
校門を入ると、児童を先生方をまた来客を、心静かに迎えてくれる校歌碑がある。

たくさん収穫できたお祝いのお祭りに、音楽会でいっしょに歌ってくれた二年四組を招待して楽しんでもらおうというものである。この単元の導入で、何をやったらいいかという話し合いで勉強させられた事があった。

それは、みんなで乗り物を作り、それに乗ってもらえば楽しんでもらおうという事になり、台車を使えばいいねと提案したが、何となく子ども達の気持ちが乗ってこないものである。そこでもう一人の先生が、「乗ってみなきゃわかんないね」と言って、子ども達を乗せて押してあげたら、「おもしろい」と喜び、「どうだ、これならいいかな」と当日のプログラム

と聞くと、「これならいいよ」と気持ちがはずんだ。この時体験がないとだめだなとつくづく感じた。

その後は、おみこしや乗り物作りに意欲的に取りかかれた。他には、踊りの練習をしたり、二年四組においしく食べてもらおうとスウィートポテトを作ったり、招待状を書いて持って行ったり等の活動ができた。当日も、会の進行から、道具の準備、そして乗り物に乗せて押してあげたり、スウィートポテトを配ったり等、全て六・七組児童が主体的にでき、二年四組からも楽しかったと言ってもらい、満足したお祭りができた。



豊丘小学校歌碑
一、あはれに、自然山は、
二、こころを、こころに
三、あはれに、あはれに
四、あはれに、あはれに
五、あはれに、あはれに
六、あはれに、あはれに
七、あはれに、あはれに
八、あはれに、あはれに
九、あはれに、あはれに
十、あはれに、あはれに
十一、あはれに、あはれに
十二、あはれに、あはれに
十三、あはれに、あはれに
十四、あはれに、あはれに
十五、あはれに、あはれに
十六、あはれに、あはれに
十七、あはれに、あはれに
十八、あはれに、あはれに
十九、あはれに、あはれに
二十、あはれに、あはれに
二十一、あはれに、あはれに
二十二、あはれに、あはれに
二十三、あはれに、あはれに
二十四、あはれに、あはれに
二十五、あはれに、あはれに
二十六、あはれに、あはれに
二十七、あはれに、あはれに
二十八、あはれに、あはれに
二十九、あはれに、あはれに
三十、あはれに、あはれに
三十一、あはれに、あはれに
三十二、あはれに、あはれに
三十三、あはれに、あはれに
三十四、あはれに、あはれに
三十五、あはれに、あはれに
三十六、あはれに、あはれに
三十七、あはれに、あはれに
三十八、あはれに、あはれに
三十九、あはれに、あはれに
四十、あはれに、あはれに
四十一、あはれに、あはれに
四十二、あはれに、あはれに
四十三、あはれに、あはれに
四十四、あはれに、あはれに
四十五、あはれに、あはれに
四十六、あはれに、あはれに
四十七、あはれに、あはれに
四十八、あはれに、あはれに
四十九、あはれに、あはれに
五十、あはれに、あはれに

- 1、はじめのことば
 - 2、六・七組によるおみこし入場
 - 3、さつまいもの収穫と二年四組への感謝の言葉
 - 4、「村まつり」の踊り
 - 5、切符で乗り物に乗る
 - 6、乗り物リレー
 - 7、学級の出し物
 - 8、会食
 - 9、先生の話
 - 10、終わりのことば
- 以上、二つの生活単元学習の様子を書いたが、やはり子ども達は、楽しい事が目標にあり、今ややっていることがそれに結びついていると、活動も意欲的になり、主体的な行動や友達との協力も出てくる事を学んだ。(栗ガ丘小)

その心洗われるような自然の豊かな地に、本校は明治五年教育令の発布とともに開かれ、昭和四十六年に現在の豊丘小学校になったのである。

その間、実に百十余年の年月を経ており、今も当時の教育精神が脈々と受け継がれている。地域の方々が、学校に協力をおしまないのは、そのためであると思う。また、明治の頃の園里学校が復元され、丘の上から温かく見守ってくれているのもその現れである。

本校の宝といえば、この美しい豊かな大地と自然・住民

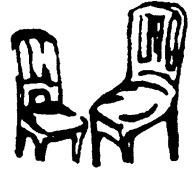
そんな願いを込めて、御寄付と市の補助により校歌碑が建立され、その後校舎改築にともない、現在の位置に移されたのである。

この歌碑は、郷土を大切に希望をもって生きよ、「心豊かで、考え深く、たくましい人間に育て」と語りかけているように思う。

私はこんな歌碑を本校の一番の宝としてその精神が子供たちの心の中に根づくことを切に願うのである。

(村上勝彦)

火ばら談義



昔の記憶

若林茂登志

須坂の地にお世話になって、早いもので一年近くになり、自分自身は更埴の生まれですが、またこの須坂の地は祖父がある高校で教員をしていたり、父親が市内の会社に勤めていたりとかと縁があるところでもあります。しかし、就職して十二年も北信の地を離れ、南信の水を飲んで生活してきていたので、なにかこうまだにしっかりとこないと、

先日、六歳と三歳になる子供を連れて、山田温泉スキー場に行ってきました。山田温泉スキー場という自分が保育園から小学校の頃、よく父親に連れて行ってもらったスキー場です。屋代からスキー靴を履いたまま長野電鉄河東線の電車に乗って須坂駅まで来ました。そしてバスに乗り、温泉街まで来ました。そこからスキーを担いで山道を登ったことを、車のハンドルを握ったときに思い出しました。それからは「はたして山田温泉のスキー場は自分のイメ



私の「超」整理法!?

持田由美子

「職員室の机の上は常に整理整頓を心がける」と言うが、ちょっと気を許すとおびただしい量の資料がうずたかく積み上がってしまう。何とか魔法のように片付け方法は無いものか。

お恥ずかしい話だが、つい先日こんなことがあった。――参観日、はりきって作った資

グランマ・モーゼスの絵画

高橋奈保子

グランマ・モーゼス(モーゼスおばあさん)の愛称で呼ばれているアンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス(一八六〇〜一九六一 米國)の絵画との出会いは、昨年の私にとって大きな感動のひとつであった。

諏訪湖畔のハーモ美術館を訪れた時のことである。正面玄関を入ってすぐ突き当たり

の壁面にのどかな農村風景の絵が四角かかっていた。赤い洋服を着た女の子が小さく描き込まれていて、何とも幸せな雰囲気が出てきた。私

でA先生のすばらしい整理法を思い出していた。

A先生は、決して整理がよい方とは言えないが(はなはだ失礼であります)見たい書類は瞬時に出てくるから不思議である。お聞きすると、ファイルは「分類しない」で全部一緒に綴じ、「〇月〇日の職員会の資料」と時間をたよりに検索するだけ、いらなくなつたものは思い切って捨てるということ、なるほど、

である。後生大事にしまひ込んでどこか忘れてしまつたり、後で整理しようなどという

ことである。彼女が今まで暮らしてきた生活そのものがテーマになっている。「アップルバター作り」「メープルシュガー園」「ピクニック」

等々。村の人々が仲良く共同生活を営んでいる様子が伝わってくる、心休まる温かい絵である。

東京の安田火災東郷青児美術館にも彼女のコレクションがある

と聞いてさっそく訪れてみた。十四、五点ほどの作品が展示されていた。「古い椀のつるべ」「そりに乗って」

等の画集で何度も観ていた作品があり嬉しかった。静かな館内で鑑賞できるモーゼスの世界は至福の時を観る人に与えてくれる。

心の幸せがほしい方は、一度この二つの美術館をたずねてみてはいかがでしょう。

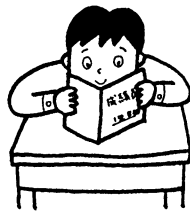
(旭ヶ丘小)

面倒がって無くしてしまう私とは比べものになりませんが先生の整理法は、究極の整理法と言える。

しかし私にとっては机のキャビネットは収納に限りがある。奥にしまひ込んだものは決して日の目を見ない。

A先生のように、私にはできそうもないので、一切合切入る大きな収納棚の方が合っているなあ、とつくづく思うのである。

(森上小)



編集後記

日ざしに春の訪れがわずかに感じられるようになりました。本年度最終会報169号を「教育活動の総括」と「授業実践から学ぶ」のテーマで編集しお届けいたします。

本年度は新教育会館が竣工し、教育会において記念すべき年でした。私たちが毎日の実践を振り返り、そこから学んだものを大切にして、新年度を迎えたのです。

学年末でお忙しいところ、快く原稿をお寄せいただいた先生方、本当にありがとうございました。

(西原・小山)